

万博の森 見どころMAP

今月の

身近な自然を探しに出かけよう！「三つの密」を避けながら、マップを片手に初夏の万博の森を楽しんでくださいね。
※開花や出現時期は気候条件等により変動します。詳しくはお問い合わせください。

植物 一初夏を彩る花ー 凜とした夏の花が次々と咲きます。開花時期が短いので、お見逃しなく！

<p>1 ユウスゲ ワスレグサ属</p>	<p>2 キツネノカミソリ ヒガンバナ属</p>	<p>3 ナツズイセン ヒガンバナ属</p>	<p>4 ヤブカンゾウ ワスレグサ属</p>
			
<p>花は夕方に開き、翌日の午前中にしぼむ。レモンイエローのいい香りのする花は、幻想的で夜光性の虫たちによく見える。</p> <p>見られる時期： 7月上旬～7月下旬</p>	<p>葉は早春に伸び、夏になると枯れる。その後花茎が伸び、黄赤（オレンジ）色の花が咲く。ヒガンバナより咲くのが早い。</p> <p>見られる時期： 7月上旬～7月下旬</p>	<p>葉はスイセンに似ているが夏に咲くことからこの名がつけられた。花は淡紅紫（薄いピンク）色でヒガンバナ属の中で最も大きく横向きに咲く。</p> <p>見られる時期： 7月下旬～8月上旬</p>	<p>花は八重咲で橙赤（オレンジ）色。若葉は、おいしい山菜のひとつ。よく似たノカンゾウは、花は一重でヤブカンゾウより葉が細い。これも若葉は食べられる。</p> <p>見られる時期： 7月下旬～8月上旬</p>

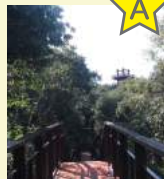
いきもの 一空のハンター トンボー 夏の空を自在に飛び回ります。

<p>5 シオカラトンボ トンボ亜科</p>	<p>6 ウスバキトンボ ハネビロトンボ亜科</p>	<p>7 ショウジョウトンボ アカトンボ亜科</p>	<p>8 オオアオイトトンボ アオイトトンボ亜科</p>
			
<p>園内が一番よく見られるトンボ。オスの体の塩をふいたような水色が名前の由来。メスはお腹が黄色く「ムギワラトンボ」とも呼ばれる。池や水辺の周辺を飛び回る。 見られる時期：5月～10月</p>	<p>南国から北に向かって渡りをし、大阪ではお盆から秋の頃に数が多くなる。到着地では冬を越せずに死んでしまう。幅広の翅を持ち、原っぱなど開けた場所で見られる。 見られる時期：6月～11月</p>	<p>オスは全身が猩々（しょうじょう 伝説上の怪物）のように真っ赤な様子が名前の由来。水面の上をパトロールするように飛んでいる。 見られる時期：5月～10月</p>	<p>イトトンボの中では大型で、オスは光沢のある緑色が美しい。薄暗いところで見られることが多く、水辺に生える背の低い草などに翅を開いて止まっている。 見られる時期：5月～11月</p>

スタッフおすすめ避暑スポット

ソラードで木陰探索

万博の森にすむ虫や鳥の目線を体験できる空中観察路。木々の間を抜ける道は風も爽やかです。途中で降りて寄り道もおすすめ。



もみじの滝に大接近！

石組みのトンネルを抜けると、もみじの滝がすぐそばに迫ってきます。濡れた石は滑るので、足元に気をつけて楽しんでくださいね。



熱中症に注意！

- 帽子をかぶるなど、直射日光を避けよう
- 定期的に水分やミネラルを補給しよう
- 虫さされに注意！
- 草むらなどに入るときは長袖長ズボンがおすすめ。虫よけスプレーなどの対策をしよう